

## 職員リレーエッセイ

# 「日本語の魅力」

ニコニコホーム 世話人 中島敬子

東京の大田区で生まれ、5歳の時に神奈川県川崎市に引っ越し。

学生を終え就職。勤めていた会社は東北出身者が多く、イントネーションが自分と違ったり方言があつたりで、同僚との会話がとても楽しかったことを覚えています。

25年前名古屋に越してきました。その時、名古屋弁はキツイなーと感じた。名古屋の方は「東京弁はキツイねー」と言う。

それぞれの生まれた育った環境によって耳と脳が違和感を感じるのでしょうか？面白いなと感じる。

名古屋に来て、ん？何を言ってるのか分からないと思った言葉。

「ホウカ」(休み時間)・「机をつる」(机を後ろに動かす)・「土間」(下駄箱)etc…違いを感じる度、面白いし楽しい。

イントネーションも含め、名古屋弁を使えるようになりたいと努力しました。が、名古屋生まれの名古屋育ちの子供たちには「お母さんの名古屋弁変！」と言われる。今では大好きな名古屋弁なのに、習得できないだけではなく名古屋出身者の方には必ず見破られてしまう。そういう意味で、役者さんは凄いなと思う。

また、方言やイントネーションの違いの他に美しい言葉がある。「たおやか」「うたかた」「つつましか」等。使われなくなってきた言葉や変化した言葉もありますが、それも含めて日本語っていいなと思っています。

先日、事務所の皆さんと“お雑煮”には何が入ってる？と、話が盛り上がりました。違いがあり驚きでもありました。

皆さんも色々な方に聞いてみてください。自分が常識(正解)だと思っていたことがそうではなかったということって結構ありますよね。

題名から外れましたが、色々な意味で会話は大切ですね！で、締めさせていただきます。

次は…ニコニコホーム非常勤さん 原田さんに繋がります。

低料第三種郵便物承認

平成 年 月 日発行（増刊）

A J Uニコニコハウス通信（第 298 号）（ 5 ）